



2021年3月期
第2四半期
決算説明資料

2020年11月6日
株式会社 セブン銀行

Today's Agenda

1

2021年3月期 第2四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

1

2021年3月期 第2四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

Today's Agenda

2021年3月期 第2四半期決算

➤ **連結・単体（セブン銀行）とも経常ベースで減収・減益**

- 経済活動再開に伴い、2Q以降は**改善傾向**

前年同期比		1Q	2Q	上期累計
		4-6月	7-9月	4-9月
連結	経常収益	△10.3%	△6.3%	△ 8.3%
	経常利益	△24.4%	15.0%	△ 6.7%
単体	経常収益	△11.0%	△5.6%	△ 8.3%
	経常利益	△28.2%	△18.5%	△ 23.2%

- **コロナ禍**を主因にATM利用件数減

前年同期比		1Q	2Q	上期累計	
		4-6月	7-9月	4-9月	
ATM総利用件数	国内	△4.8%	△1.8%	△ 3.3%	
		1-3月	4-6月	1-6月	(ご参考) 7-9月
	米国 (SEI設置)	△0.9%	△2.2%	△ 1.6%	12.6%

2021年3月期 年度計画

➤ **連結・単体とも年度計画に変更なし**

- コロナ禍が事業環境に及ぼす影響は今後も楽観視できない
- 現状までほぼ想定線にて推移

2021年3月期 配当予想

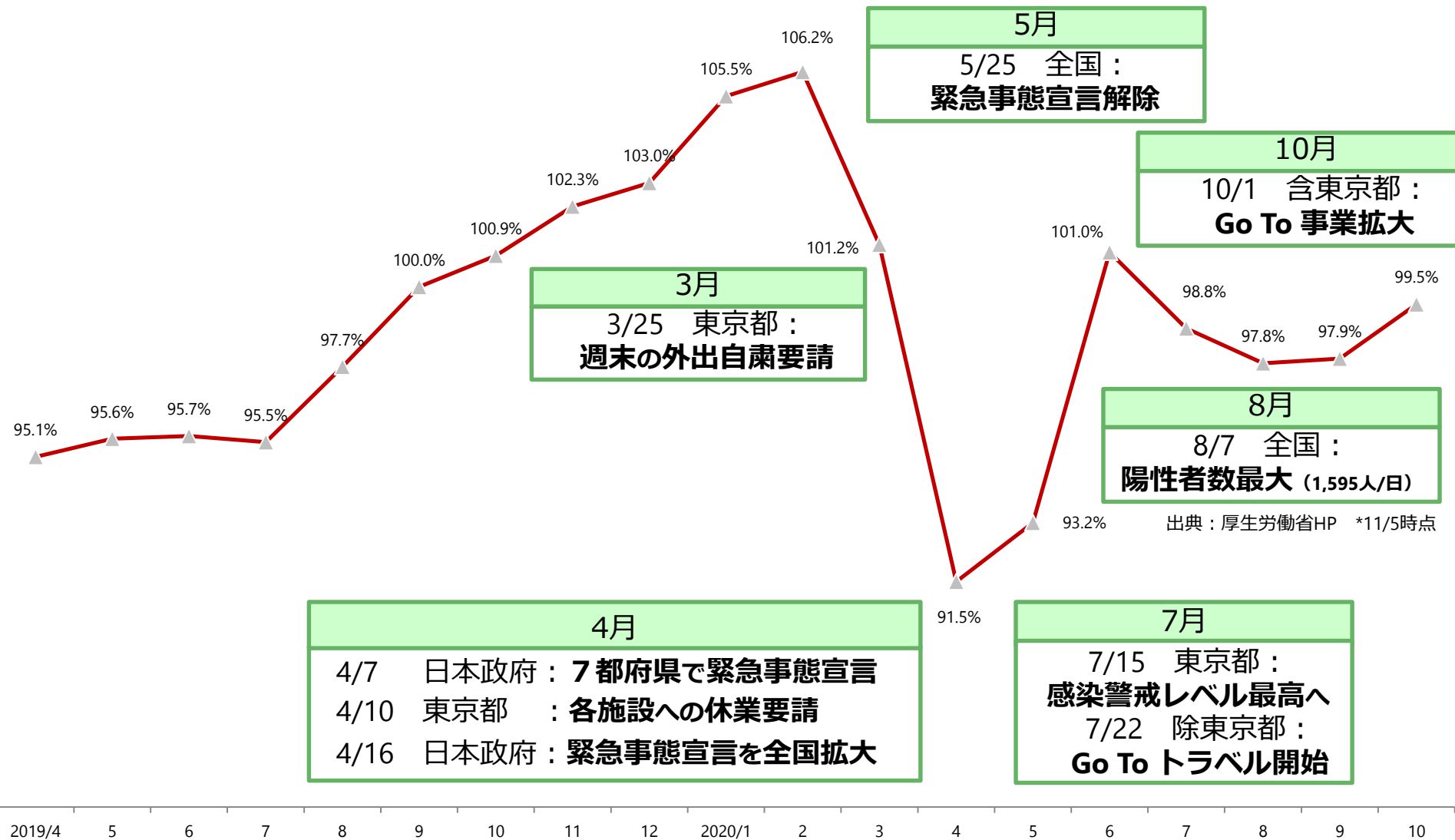
➤ **当初計画より変更なし**

- 中間配当 1株あたり5.50円 (期末配当5.50円、年間11円を計画)

<参考> 新型コロナウイルス感染症の影響

ATM平均利用件数 前年同月比

緊急事態宣言の解除以降、ATM平均利用件数は回復も予断を許さない状況



損益状況 <連結>

(単位：億円)

	2020年3月期		2021年3月期				
	実績		上期実績	計画			
	通期	上期		前年差異	計画差異	通期	上期
経常収益	1,485	745	683	△62	5	1,342	678
経常費用	1,087	543	495	△48	△2	1,013	497
経常利益	398	201	187	△14	7	328	180
純利益	261	130	142	12	16	230	126

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2020年3月期実績 = 109.03円、2020年3月期上期実績 = 110.06円、2021年3月期上期実績 = 108.23円、2021年3月期計画 = 108.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	2020年3月期		2021年3月期				
	実績		上期実績			計画	
	通期	上期	前年差異	計画差異	通期	上期	
経常収益	1,202	602	551	△51	3	1,098	548
うちATM受入手数料	1,087	545	490	△55	△1	980	491
経常費用	752	369	373	4	△5	773	378
うち資金調達費用	6	3	2	△1	0	6	2
うちATM設置支払手数料	157	79	78	△1	△1	159	79
うち業務委託費	189	93	101	8	0	208	101
うち保守管理費	37	18	19	1	0	41	19
うち減価償却費	136	69	62	△7	0	130	62
経常利益	450	232	178	△54	9	324	169
特別損失	51	26	0	△26	0	0	0
法人税等合計	122	63	54	△9	4	99	50
純利益	276	142	123	△19	5	224	118
EBITDA	586	301	241	△60	9	455	232
期末ATM設置台数 (台)	25,215	25,342	25,382	40	82	25,515	25,300
ATM受入手数料単価 (円)	130.9	133.8	124.4	△9.4	0.0	124.0	124.4
平均利用件数 (件/台/日)	92.1	90.5	87.6	△2.9	0.0	87.5	87.6
総利用件数 (百万件)	849	417	403	△14	0	807	403

注) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

損益状況 <FCTI>

(単位：百万米\$)

	2019年12月期		2020年12月期				
	実績		上期実績 (1-6月)	前年差異		計画	
	通期	上期		前年差異	計画差異	通期	上期
経常収益	254.0	128.0	117.0	△11	2.7	213.0	114.3
経常費用	247.7	128.6	103.4	△25.2	2.6	194.4	100.8
うち資金調達費用	35.2	19.1	10.2	△8.9	0.0	16.9	10.2
うちATM設置支払手数料	139.7	70.6	58.2	△12.4	0.0	112.9	58.2
うち業務委託費	17.4	8.9	8.1	△0.8	0.0	15.2	8.1
うち保守管理費	17.4	8.6	8.1	△0.5	0.0	15.3	8.1
うち減価償却費	6.7	3.3	3.3	0	0.0	6.8	3.3
経常利益	6.3	△0.6	13.5	14.1	0.0	18.6	13.5
特別損失	△0.5	△0.4	△0.0	0.4	0.0	△2.0	△0.0
純利益	6.6	△0.3	13.4	13.7	△0.1	20.5	13.5
EBITDA	13.1	2.7	16.8	14.1	0.0	25.5	16.8
期末ATM設置台数 (台)	10,886	12,165	10,663	△1,502	3	8,640	10,660
うちSEI設置台数	8,465	8,383	8,494	111	4	8,640	8,490
平均利用件数 (件/台/日)	43.1	43.7	45.1	1.4	0.0	46.5	45.1
うちSEI設置	55.4	55.4	53.6	△1.8	△0.1	52.6	53.7
総利用件数 (百万件)	191.6	96.1	88.2	△7.9	0.0	171.5	88.2

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) FCTI社の資金調達費用 = ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

注3) 2020年9月末時点のATM台数 = 9,487台 (速報値)

SEI内：8,572台、 SEI外：915台

損益状況 <子会社>

(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		
	実績		上期実績	前年差異	通期計画
	通期	上期			
経常収益	1,573	668	861	193	1,895
経常費用	1,414	635	877	242	1,762
経常利益	158	32	△15	△47	133
純利益	111	21	△15	△36	93

- マネロン対策等の事務委託ニーズが拡大

- 外部受託先の金融機関等数
2019/9末：20社
→ 2020/9末：24社



	2020年3月期		2021年3月期		
	実績		上期実績	前年差異	通期計画
	通期	上期			
経常収益	115	46	177	131	315
経常費用	233	118	191	73	405
経常利益	△117	△82	△14	68	△90
純利益	△117	△83	△14	69	△90

- 多様な送金ニーズが顕在化利用拡大と共に認知度向上

- サービス契約社数
2019/9末：240社
→ 2020/9末：328社



	2019年12月期		2020年12月期		
	実績		上期実績 (1-6月)	前年差異	通期計画
	通期	上期			
経常収益	143	46	154	108	460
経常費用	118	79	116	37	409
経常利益	23	△33	37	70	51
純利益	29	△197	37	234	51

- 自社ATM運営事業が堅調進捗

- ATM設置台数
2019/9末：150台
→ 2020/9末：437台

注) 為替レート：100インドネシアルピア

2020年3月期実績=0.771円、2020年3月期上期実績=0.775円、2021年3月期上期実績=0.744円、2021年3月期計画=0.751円

財務状況<セブン銀行>・株主還元

貸借対照表 (2020/9末) セブン銀行

(単位：億円)

現金預け金 8,833 (ATM装填用等)	預金 7,410 (個人預金 4,993)
	社債 1,050
	ATM仮受金 439
有価証券 897	その他 222
ATM仮払金 841	純資産 2,344
その他 894	

資産 11,465

負債+純資産 11,465

単体自己資本比率 (国内基準) 55.16% (速報値)
 格付 (長期) S&P A+
 R&I AA

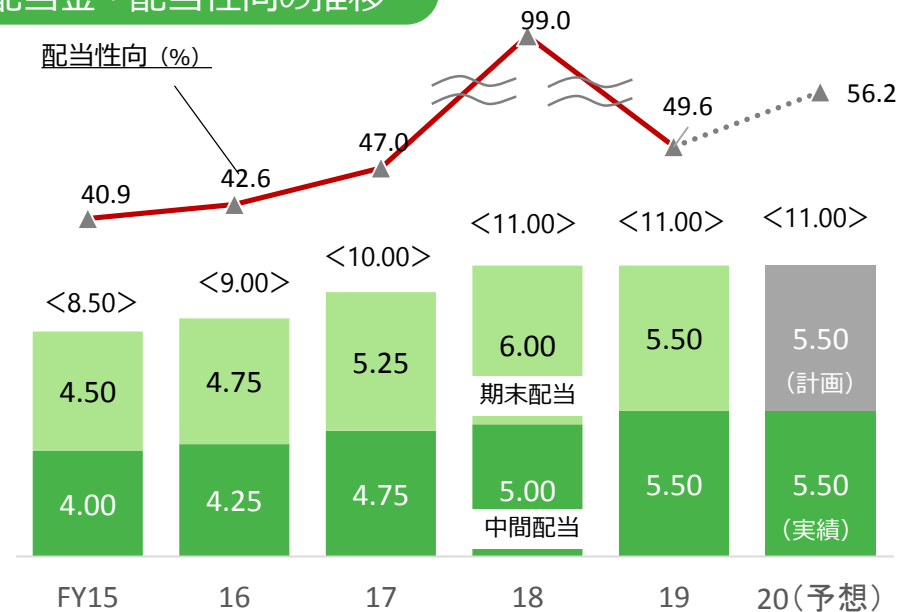
株主還元方針

- 株主還元は、年2回の配当を基本
- 配当性向年間40%を最低目標に、安定的な配当

配当

- 20年度：年間11円/株 (配当総額 約12,970百万円)
- 中間配当は計画通り5.50円/株

配当金・配当性向の推移



Today's Agenda

1

2021年3月期 第2四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

Withコロナを見据えた対応

コロナ禍を機に変化が加速

リモート・非対面

キャッシュレス

オンライン

デジタル

多様な選択肢が求められる世界

- 将来の成長に不可欠な施策をスピード感持って着実に積み上げ

既存事業の進化

ATMプラットフォーム事業の更なる強化

- ・キャッシュレス化に対応した、新たなATM利用スタイルを創造
- ・ATM運営受託の推進
~2020年3月末235台→2020年9月末285台

『ATM+』の世界を開拓

- ・現金を超えたサービスの実現
~マイナポイント申込みに対応

新たな事業領域

国内事業 重点領域

個人

居住外国人

BPO

セキュリティ

法人

海外事業

ATM事業拡大

新事業検討

下線付き施策の進捗状況を次頁以降で紹介

既存事業の進化

新たな事業領域

ATMプラットフォーム事業の更なる強化

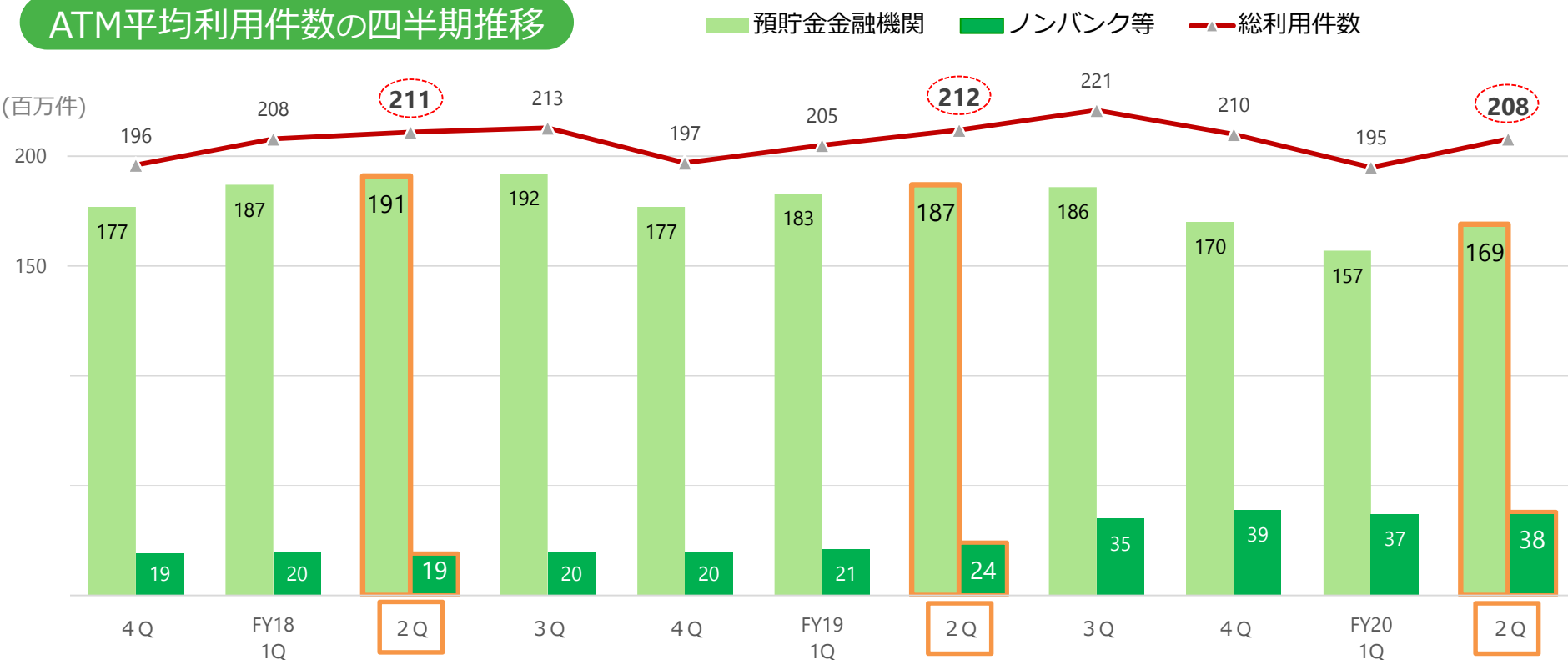
キャッシュレス拡大

- ・ 預貯金金融機関取引は漸減
- ・ 現金チャージ（ノンバンク等も含）取引を創出・増加

環境変化に対応し、新たなATM利用スタイルを創造

ATM利用件数を維持

ATM平均利用件数の四半期推移

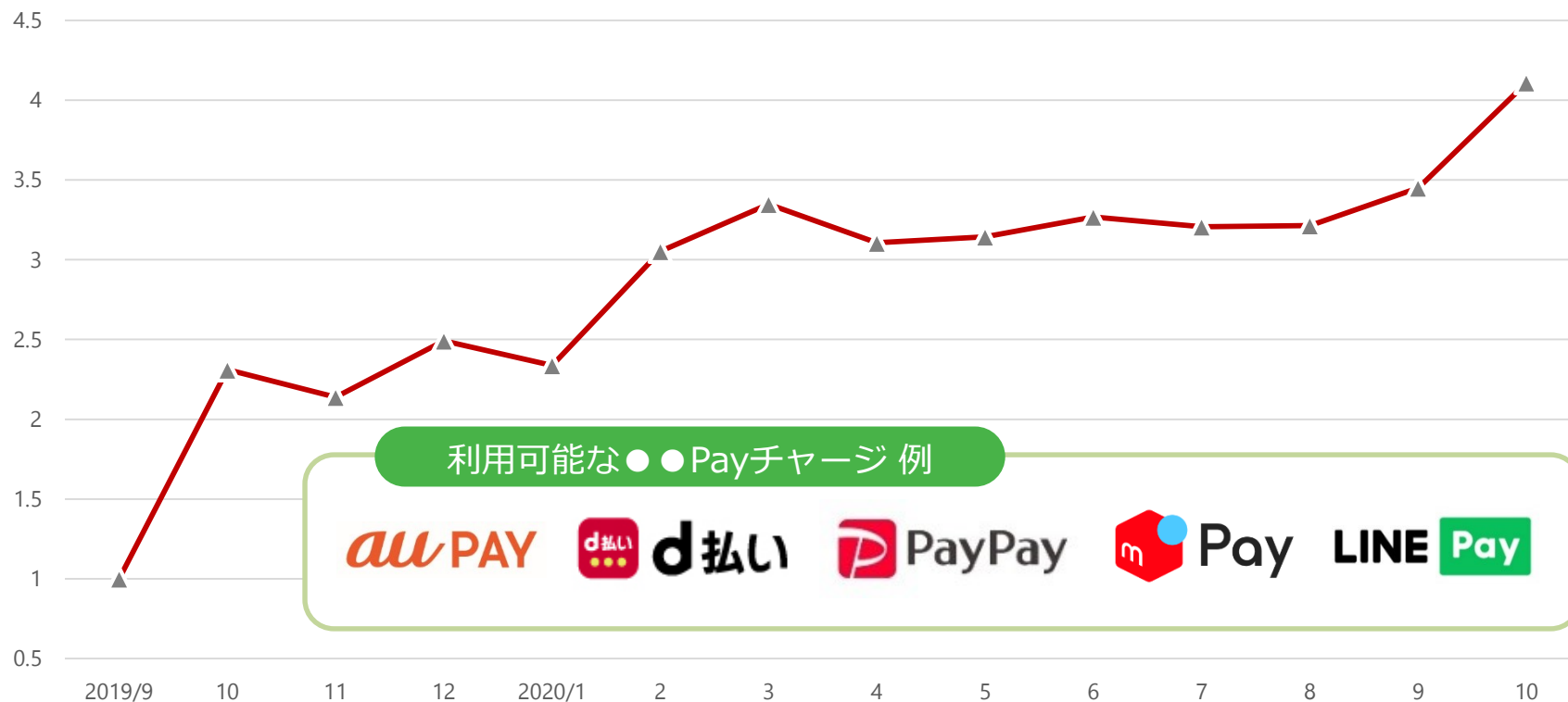


ATMプラットフォーム事業の更なる強化

- キャッシュレス決済へのチャージ手段として“安心・安全なサービス”の認知獲得
- 2020年6月末の「キャッシュレス・消費者還元事業」終了後も堅調推移

事業会社 取引件数推移

2019年9月の利用件数を基点とした推移グラフ



利用可能な ● ● Payチャージ 例

au PAY



d払い



PayPay



Pay

LINE Pay

キャッシュレス・消費者還元事業

「ATM+」の世界を開拓

ATM+

できたらいいなを、
プラスしていく。

第4世代ATM 設置状況	
2020/3末	1,150
2020/6末	1,438
2020/9末	3,118
2020/下期設置計画	+約3,000
2021/3末 (計画)	約6,100

- ◆ 7月以降は順調に入替設置が進捗
- ◆ 11月末に東京都内入替設置を完了予定

マイナンバーカード読取り機能を実装

ATM初 2020年8月~

- マイナポイント申込みが可能に

申込支援端末を提供する民間事業者として
マイナポイント事業に採択



【セブン銀行ATMでのマイナポイント申込概要】

- 申込期間** 2021年3月31日(水) まで
- 利用時間** 原則24時間
- 利用手数料** 無料 (マイナポイント申込みはどこでも手続きしても手数料無料です)

ATM初 来春より

- 健康保険証利用申込みが可能に

- ①セブン銀行ATMで
マイナンバーカードの健康保険証利用の申込手続
- ②医療機関等で
マイナンバーカードを健康保険証代わりに利用可能



既存事業の進化

新たな事業領域

5つの重点領域

変化（社会課題の顕在化）を機会と捉え、事業領域の拡大へ
「セブン銀行が培ったノウハウ」 + 「パートナー企業等と連携」

個人

身近でユニークな金融商品の開発



- ・ コンビニ発想による、新商品や新サービス

居住外国人

外国人向けに海外送金や与信等の金融サービスを提供



- ・ BDO銀行（フィリピン）、DBS銀行（シンガポール）など現地銀行との協業を強化
- ・ 居住外国人向け与信関連サービスを開始

BPO

銀行実務のデジタル化により効率的な受託ビジネスへ発展



- ・ 事務受託は順調に拡大、マネロン対策、口座開設のRPA化を推進

セキュリティ

デジタル化社会に求められる、より厳格な本人認証をビジネス化



- ・ 静岡銀行をファースト・ユーザーとしてサービス提供

法人

中小法人向け決済代行等のインフラ提供



- ・ スマホやATMを活用した新サービスの実現へ向けて前進

居住外国人

居住外国人向け与信等のサービス提供



株式会社Credd Financeは株式会社新生銀行との合併会社

セブン銀行
外国人の顧客基盤

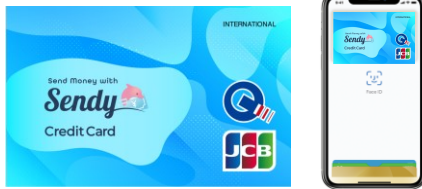


アプラス
個人向け金融審査ノウハウ

居住外国人の暮らしの利便性向上

居住外国人向け与信関連サービスを開始

①クレジットカード(カードレス)2020年8月～
Sandy Credit Card



審査データの蓄積

- ・外国人与信ノウハウ
- ・貸付実績データ

②目的別ローン(無担保)2020年10月～
Sandy Personal Loan



セキュリティ

オンライン本人確認、不正検知等のサービス提供



株式会社ACSIONは株式会社電通国際情報サービスとの合併会社

セブン銀行
不正検知ノウハウ



電通国際情報サービス
Fintechを活用した
ソリューション構築力

高度な本人認証・不正検知 = 安心・安全なサービスの基盤づくり

提供サービス



(プルースト) オンライン本人認証サービス (eKYC)
➔ 精度の高い真贋判定により、なりすましを防止



(ディテッカー) 不正申込、不正アクセス監視検知サービス
➔ 不正情報との突合、異常取引を検知

提供先銀行



静岡銀行

2020年11月5日時点

Today's Agenda

1

2021年3月期 第2四半期決算

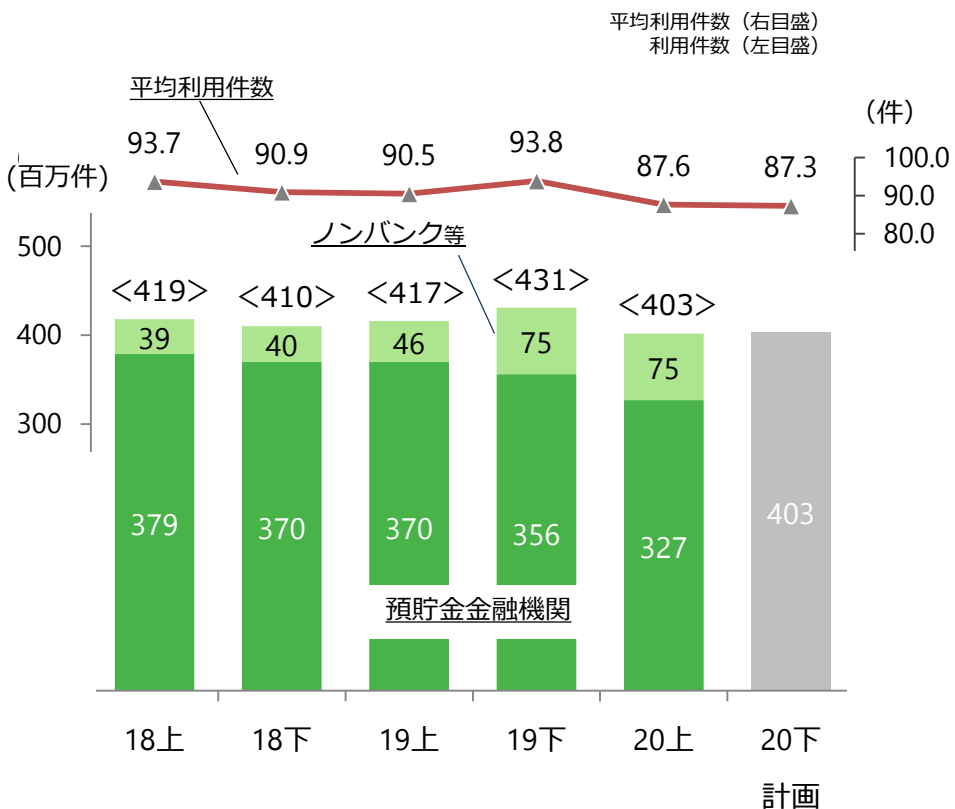
2

事業戦略の進捗状況

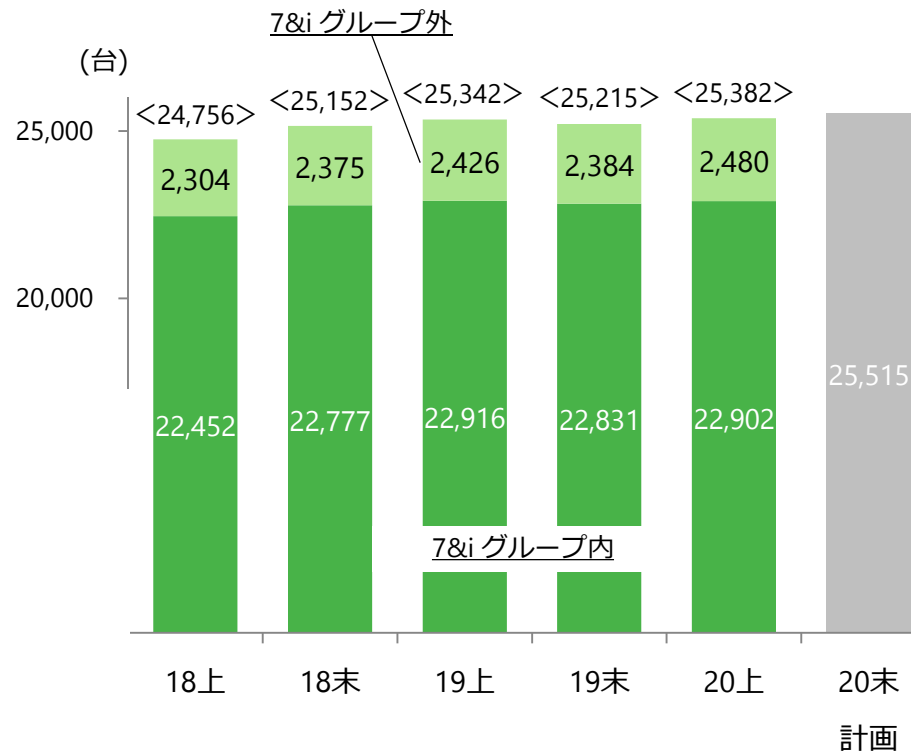
3

Appendix

ATM利用件数と平均利用件数の半期推移



ATM台数の推移



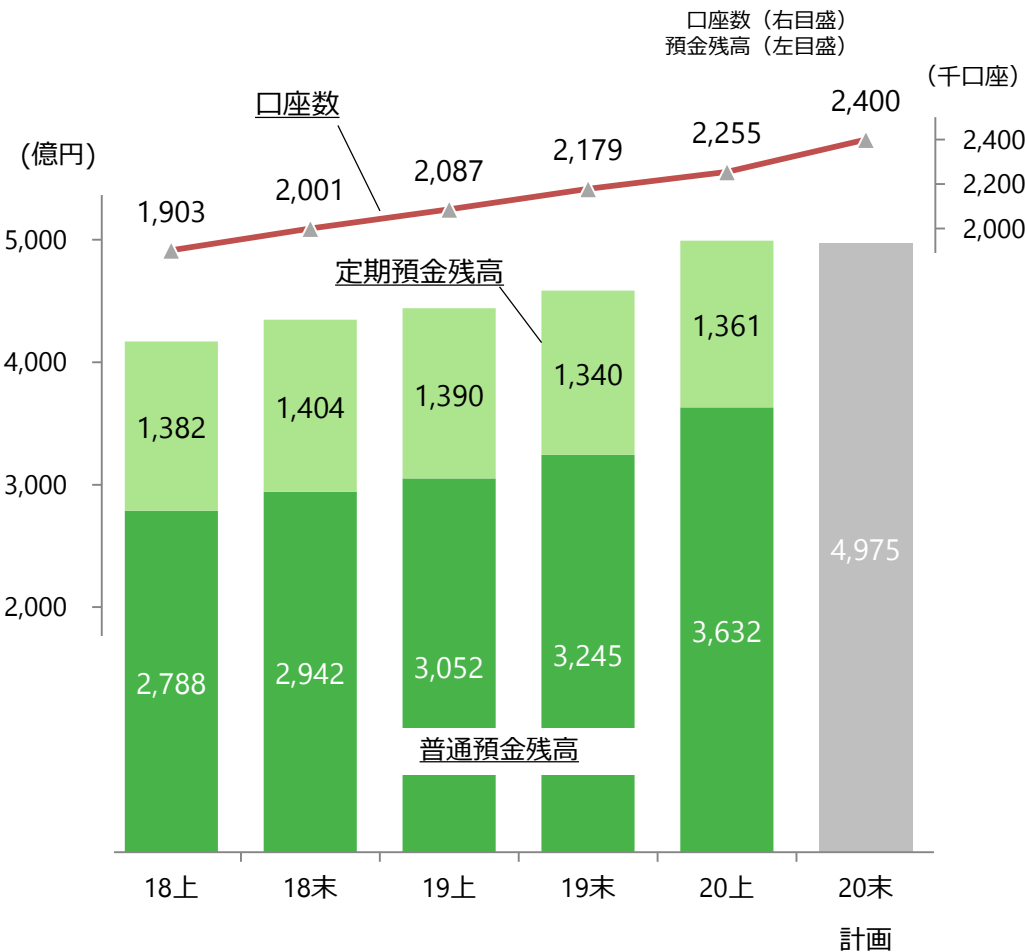
注1) ATM利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

注3) 2021年3月期上期 ATM受入手数料単価124.4円

ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	19上期 実績	20上期 実績	20末 計画
期末 残高 (億円)	229	228	260

海外送金サービス

	19上期 実績	20上期 実績	20末 計画 *
取引 件数 (千件)	593	607	1,200

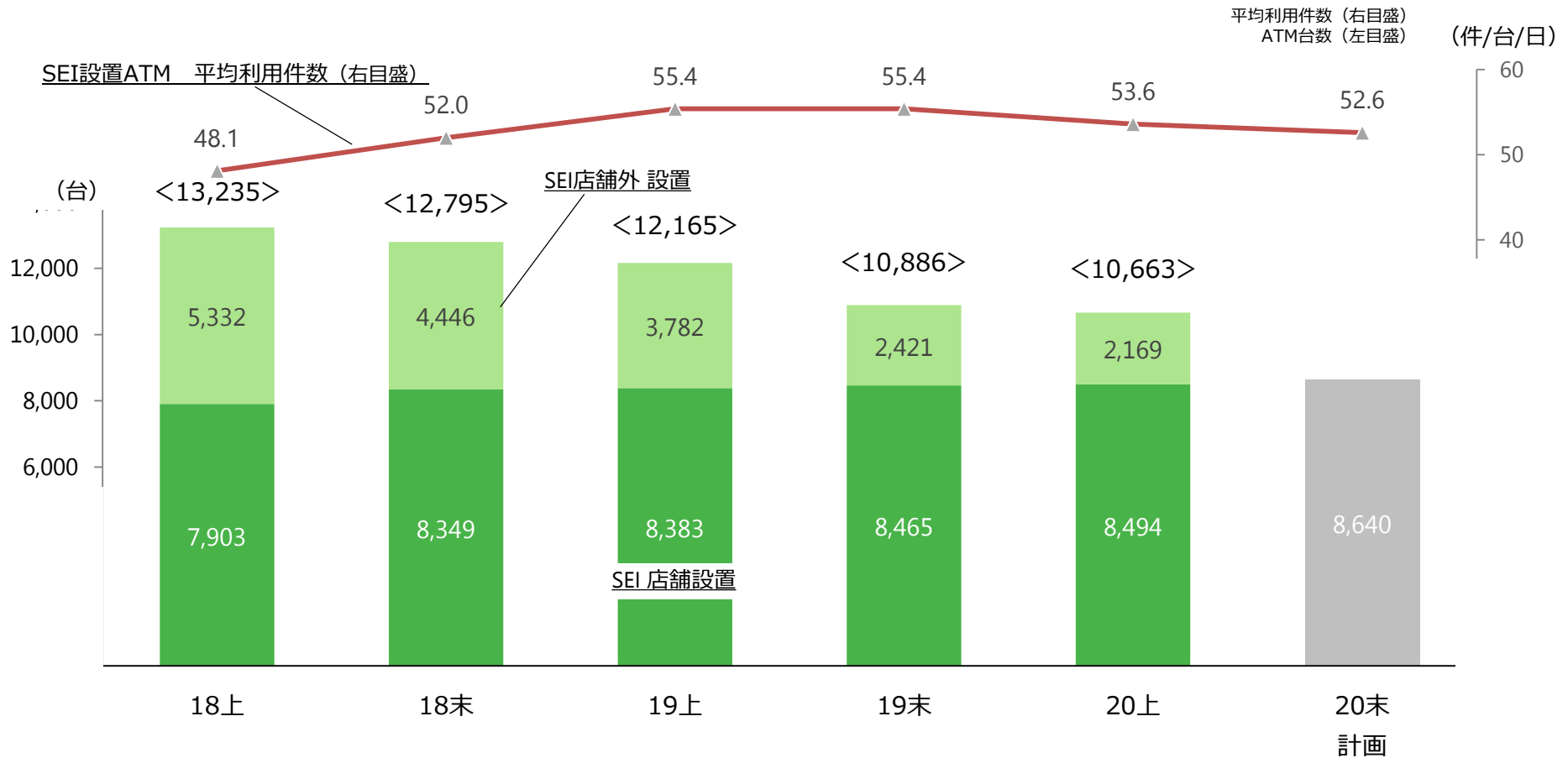
*含セブン・グローバルレミット提供サービス

デビットサービス

	19上期 実績	20上期 実績	20末 計画
取引 件数 (千件)	6,408	8,723	16,740

米国ATM 計数 <FCTI>

ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の半期推移



- 2020年3月に国家非常事態宣言発出、ATM利用件数は低下
- 2020年5月以降、失業保険給付等の追風でATM利用件数は前年同期を上回る水準へ
- 更なる運用効率化へ：低採算ATM（SEI店舗外設置ATM）は、計画的に整理



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。